



科 學？ 非 科 學？

工學博士
眞島健三郎

此寫眞は此間山陽線汽車慘事のあつた豪雨(6月中旬)でやられたもので一寸面白い事例と思はれますので参考に供します

これは瀬戸内海の或島の道路ですが、山の裾を巡りて段形に造られた道路の側下は土地風に頗る高い練積の石垣で切り付けた眞砂盤や或は眞砂の盛上面を被覆したもので、石垣の眞上には目

隠し塀が築かれてあります。塀は古煉瓦の半枚モルター積で、高さ約6尺、長手約6尺毎に一枚積み柱形がついてゐる。両面はモルター塗で鐵筋などは一本も使つてないさうです。之が先日の豪雨で水が廻り一部の被覆石垣が根から押出され、路面の側半分が崩れ落ちたのである。然るに不思議にも此貧弱なる半枚積みの塀は約7間の間何の損傷もなく中空に支へられて奇觀を呈してゐる。石橋を叩いて通らうとする今日の科學技術にも往々慘事がある中で、斯様な一見非科學的と思はれる構造が無事であるのも一異例として興味があると思はれます。

隠し塀が築かれてあります。塀は古煉瓦の半枚モルター積で、高さ約6尺、長手約6尺毎に一枚積み柱形がついてゐる。両面はモルター塗で鐵筋などは一本も使つてないさうです。之が先日の豪雨で水が廻り一部の被覆石垣が根から押出され、路面の側半分が崩れ落ちたのである。然るに不思議にも此貧弱なる半枚積みの塀は約7間の間何の損傷もなく中空に支へられて奇觀を呈してゐる。石橋を叩いて通らうとする今日の科學技術にも往々慘事がある中で、斯様な一見非科學的と思はれる構造が無事であるのも一異例として興味があると思はれます。